

忘れられぬ印象

芥川龍之介

青空文庫

伊香保いのかほの事を書けと云ふ命令である。が、遺憾ゐかんながら伊香保へは、高等学校時代に友だちと二人ふたりで、赤城山あかぎさんと妙義山めうぎさんへ登つた序ついでに、ちよいと一晚泊つた事があるだけなんだから、麗々れいれいしく書いて御眼おめにかける程の事は何も無い。第一どんな町で、どんな湯があったか、それさへもう忘れてしまった。唯ただ、臙げおぼろに覚えてゐるのは、山に蔓はびこる若葉の中を電車ででむやみに上のぼつて行つた事だけである。それから何とか云ふ宿屋へとまつたら、隣座敷に立派な紳士が泊り合せてゐて、その人が又非常に湯が好きだつたものだから、あくる日は朝から六度も一しよに風呂へ行つた。さうしたら腹の底からへとへとにくたびれて、廊下を歩くのさへ大儀になつた。けれどもくたびれた儘で、安閑あんかんと宿屋へ尻を据ゑてもゐられないから、その日の暮くれ方がたその紳士と三人で、高崎の停車場まで下くだつて来たが、さて停車場へ来てみると、我々の財布には上野までの汽車賃さへ残つてゐない。そこで甚恐はなはだ縮しながら、その紳士に事情を話して、確たしか一円二十銭ばかり借用した。以上の如く伊香保と云つても、溪山けいざんの風光は更に覚えてゐないが、この紳士の記憶だけは温泉の話が出る度に必ず心に浮んで来る。何でも湯の中で話した所によると、この人は一人にん乗りの小さな自働車を製造したいとか云ふ事だつた。今日の新聞で見ると、乗合自働車はもう出来た

さうであるが、一人乗りの小さな自動車が出来たと云ふ噂はどこにもない。今ごろあの紳士はどうしてゐるかしら。

(大正八年八月)

青空文庫情報

底本：「筑摩全集類聚 芥川龍之介全集第四卷」筑摩書房

1971（昭和46）年6月5日初版第1刷発行

1979（昭和54）年4月10日初版第11刷発行

入力：土屋隆

校正：松永正敏

2007年6月26日作成

青空文庫作成ファイル：

このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫 (<http://www.aozora.gr.jp/>) で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

忘れられぬ印象

芥川龍之介

2020年 7月17日 初版

奥 付

発行 青空文庫

URL <http://www.aozora.gr.jp/>

E-Mail info@aozora.gr.jp

作成 青空ヘルパー 赤鬼@BFSU

URL <http://aozora.xisang.top/>

BiliBili <https://space.bilibili.com/10060483>

Special Thanks

青空文庫 威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー <http://aohelp.club/>
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
<http://tokimi.sylphid.jp/>